

ASAGO LOCAL VITALIZATION COOPERATOR EXPERIENTIAL REPORT 2023

朝来市地域おこし協力隊レポート



2023

ASAGO LOCAL VITALIZATION COOPERATOR EXPERIENTIAL



朝来市地域おこし協力隊

朝来市では、平成 26 年度から地域おこし協力隊の制度を導入しています。
これまでに 16 人の隊員が任期を終え、内 15 人が市内に定住しています。
現在は計 9 名が活躍中。地域みなさんとともに、地域を元気に、楽しく、
そして、自分らしく、いきいきとがんばっています。

ASAGO LOCAL VITALIZATION COOPERATOR EXPERIENTIAL

朝来市地域おこし協力隊

FLOW OF RECRUITMENT

採用までの流れ

1.

Recruitment flow

まずは体験ツアーへ参加

自分の目で朝来市を見て、自分の耳で聴いて、肌で感じてから決めて欲しい。「ちょっとイメージが違う」「はじめて聴く話だった」「このまちで活動してみたい」協力隊になって地方で暮らすのは大きな決断なので、私たちは皆さんが「決める」後押しをしたい。1泊2日に内容を詰め込んだ、朝来市地域おこし協力隊体験ツアーを開催します。



2.

Matching

地域とマッチング

地域ではあなたに、あれもやってほしい、これもやってほしいと、期待することがたくさん。全て聞き入れたいけど、私たちには限られた時間しかない。成果を大きくするには「あなたのできること・やりたいこと」と「地域があなたに期待すること」をマッチングさせること。そのための話し合う場を設けます。



3.

Presentation & Interview

提案会 & 面接 ...そして採用決定！

体験ツアーと地域とのマッチングの成立を終えたら、あなたが考案するミッションを伝えるための提案会を開催します。審査のポイントは定住とミッションの実現性。そして、あなたの「やりたい」という熱い気持ち。朝来市と共にあなたの夢を叶えましょう！提案審査を通過したら、最終面接を経て採用決定です。



朝来市の協力隊になって、地域をおこそう！

ASAGO LOCAL VITALIZATION COOPERATOR EXPERIENTIAL 朝来市地域おこし協力隊 3つの特徴

1. Follow up フォローアップ体制について

隊員それぞれのミッションが実現するように、フォローアップ研修会の開催や、協力隊が集まる定期ミーティングの実施による「悩みの共有」、「状況を打開するための意見交換」などをおこなっています。また生活の支援・活動の支援は、所属団体において相談できる者を明確にすることを心掛けています。海外から着任した隊員には市の国際交流員などによる支援もおこなっており、初めての土地でもいきいきと活動ができるよう隊員の状況に応じたきめ細やかなフォローアップ体制を整えています。



2. Tripartite training 想いを確認し合う「三者研修」の実施

地域おこし協力隊制度において、隊員は最大3年間の期間の中で、「地域から求められる地域課題の解決」と、主に「任期後の生業づくり」につながる活動が求められます。この2種類の活動が必ずしも、1つの道につながるとは限りません。その場合「隊員」・「地域」・「自治体」という三者の思いのズレにつながらないように、それぞれが求めることや、ミッションの進捗状況などを確認する「三者研修」を実施しています。また市行政幹部や地域の関係者の皆さんに対して活動状況を発表する場を設けることで、隊員は新たな協力者を得たり、活動の方向性の確認をしたりしながらミッションの達成を目指します。



3. Work balance 任期終了後の理想形と活動のバランス

「地域から求められる地域課題の解決」と「任期後の生業づくり」に関する取組の延長に、定住のための生活を支える仕事づくりが位置づけられるのが理想です。任期終了後を見据えながら、3者で活動のバランスを話し合います。その際に、標準的な活動の割合を概ね「5（地域支援活動）：3（定住に向けた活動）：2（協力隊のチーム活動）」となるように調整しています。



ACCESS TO ASAGO CITY 朝来市へのアクセス



電車をご利用の場合【山陰線・播但線】和田山駅下車

- ・大阪より特急で約2時間10分（福知山線経由）
- ・神戸より特急で約2時間（播但線経由）
- ・姫路より特急で約1時間（播但線経由）
- ・京都より特急で約1時間50分（山陰線経由）
- ・鳥取より特急で約2時間（山陰線経由）

自動車ご利用の場合

- 中国自動車道（福崎IC）→ 播但連絡道路（和田山IC）下車
 ・大阪より約2時間 ・神戸より約1時間50分
- 中国自動車道（吉川JCT）→ 舞鶴若狭自動車道（春日JCT）→ 北近畿豊岡自動車道（和田山IC）下車
 ・大阪より約2時間 ・神戸より約1時間50分
- 国道9号線利用
 ・京都より約2時間30分 ・鳥取より約2時間



MAP



生野鉾山のまちとして鉾山文化や景観が色濃く残る地域



人口が最も多く「天空の城竹田城跡」がある地域



田園風景が広がり、旧街道沿いに酒蔵が並ぶ注目の地域



美術館や鉾山遺構、茶畑など多様な側面を持つ地域



新入隊員

Mami Nishimura

西村 真美

R5
年度採用（第8期）

Mission

保育士の経験を生かして交流を生みだす！

西村さんはどんな人？

たつの市出身。2023 年 4 月より和田山地区地域自治協議会配属。国内外で約 14 年間保育士として働いた経験をもつ。この経験を通じて、保護者支援、多世代交流、異文化交流の必要性を感じるようになる。特技は、良く笑うこと。人見知りせずに初めての人とでもうちとけ合える。この特技によって、周囲の人の笑顔も絶えない。



今年度はどんな年でしたか？

今年度は、協力隊として1年目でしたが、持ち前の好奇心で多くの活動に巻き込まれながら過ごすことができました。和田山自治協での子ども向け事業をはじめとして、様々な活動に携わりそれらの情報発信をすることで多くの出会いがありました。また、近隣の高校でこれまでの経験を話す授業に招いてもらうなど、地域の課題解決につながる機会もたくさんいただいています。



新入隊員

Akito Sakiyama

崎山 皓斗

R5
年度採用（第8期）

Mission

写真と映像で地域の魅力を伝える！

崎山さんはどんな人？

姫路市出身。2023 年 4 月より栗鹿地域自治協議会配属。既に朝来市で協力隊として活躍する崎山祥隊員は実の兄であり、映像を使ったプロモーションを手掛けるパートナーでもある。朝来市の協力隊制度が始まって以来の最年少での着任であるが、1 年目から地域の PR 活動に積極的に取り組んでいる。将来は映像クリエイター、フォトグラファーとして独立を目指している。



今年度はどんな年でしたか？

活動 1 年目ということもあり、できるだけ地域に密着して活動することを心がけました。活動エリアの中心である栗鹿地域での各種催し等を撮影していく中で多くの出会いがあり、うれしく思います。来年度は更なるスキルアップ、活動のバージョンアップを目指します！



R2 年度採用
(第 5 期)

ケビン ネル

Kevin Nei



どんな人？

南アフリカ出身。2020 年 8 月より朝来地域自治協議会配属。大学では工業デザインを専攻し、その中で出会った和のデザインに魅かれたことをきっかけに来日。専門であるデザインとは別に、写真やサイクリングといった趣味で培った多彩なスキルが活動をより加速度的に押し進めている。



今年度は
どんな年
でしたか？

今年度は、インバウンドに向けたサイクリングツアーの企画運営、朝来市のプロモーションビデオの制作を行いました。また「e-bike」を使ったサイクリングツアーがひょうごフィールドバビリオンプログラムに組み込まれるという貴重な経験もできた手応えのある一年となりました。



R2 年度採用
(第 5 期)

レハン ネル

Rehan Nei



どんな人？

ケビン隊員とは双子の兄弟。2020 年 8 月よりいくの地域自治協議会配属。大学で工業デザインを専攻。サイクリング、写真は兄弟にとって共通の趣味でもあることから、二人ともアクティブで何をするにも互いに助け合える関係にある。協力隊としての活動でも兄弟らしく助け合いながら地域の活性化のために突き進んでいる。



今年度は
どんな年
でしたか？

今年度も、生野鉱山の旧鉱山職員宿舎（甲社宅）を宿泊施設にした「イクノステイ」を引き続き運営しており、安定して海外からの宿泊客が訪れるようになってきました。今後も、兄弟であるケビンが主に手掛けるサイクリングツアーと「イクノステイ」を組み合わせることで地域の経済活動を活性化していきます。



R3 年度採用
(第 6 期)

北川 修平

Shuhei Kitagawa



どんな人？

神戸市出身。2021 年 4 月より大蔵地域自治協議会配属。朝来市へ移住するまでは大阪でうどん屋を営んでいた経歴をもつ。コロナ禍という社会の変化もあり、心機一転自らが生産者になるという決意に至る。かねてからの趣味であるツーリングで朝来市に何度も訪れていたことも朝来市を選んだ要因になっている。大蔵地域で、有害鳥獣として捕獲された鹿肉の有効活用に取り組んでいる。



今年度は
どんな年
でしたか？

着任当初から持ち続けている「食」に携わりたいという思いにブレはありません。猟師さんが捕獲した鹿を処理し、都市部のレストランに卸しています。単純かもしれませんが、せっかくだけ命が無駄にならないように受入体制、処理方法とこだわり続けています。こうしたこだわりを経て耳にすることができる、「鹿肉って美味しい」という言葉は励みになります。



R3 年度採用
(第 6 期)

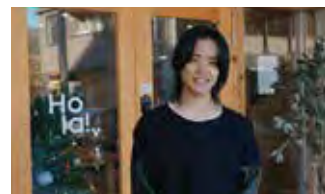
崎山 祥

Sho Sakiyama



どんな人？

姫路市出身。2021 年 4 月より大蔵地域自治協議会配属。東京での会社員時代にプロダクトデザインコンテストで受賞の経験をもつデザイナー。コロナ禍をきっかけに東京での暮らしから地方の可能性を感じ、協力隊となることを決意。デザインスキルを使って、関わる人の想いをカタチにし続けている。



今年度は
どんな年
でしたか？

今年度は、特技のデザインを通じて若い人と多くのプロジェクトに携わらせてもらいました。いずれも映像や空間、教育、農業、伝統工芸、IT 分野等、未知の分野ばかりでしたが、こうして活動することができたのも多くの方に支えていただいたおかげだと思っています。



R3 年度採用
(第 6 期)

Charles Chi チャールスチ

どんな人？

アメリカ合衆国出身。2021 年 8 月より朝来地域自治協議会配属。朝来市の観光資源や自然環境に魅了され、地域おこし協力隊となることを決意。「道の駅あさご 村おこしセンター」にて情報発信やメニュー開発等を行い、幅広い観光客の誘客を行う。開発メニューの中でも、真っ黒なバンズを使った「鉱石バーガー」はその代表メニューの一つ。

今年度は
どんな年
でしたか？

今年度も、これまでと同様に道の駅での新メニューの開発を続け、ついに通算 6 つのメニューが正式メニューとして採用されています。さらに、道の駅そのものの魅力を伝えるために、イベントを実施し、SNS でも発信してきました。ぜひ、Instagram で「道の駅あさご 村おこしセンター」を見つけてフォローして欲しいです！



R4 年度採用
(第 7 期)

Kaori Takagi 高木 香里

どんな人？

東京都八王子市出身。2022 年 4 月よりハンザキ研究所配属。サンショウウオをこよなく愛し、その生態について日々研究に取り組む。将来の夢は、「生き物と人がともに幸せに暮らせる社会をつくるのに貢献すること」とし、環境教育や普及啓発活動を通じて地域の活性化を目指している。

今年度は
どんな年
でしたか？

今年度は、小型サンショウウオの幼生の飼育実験を行ったところ、幼生の生態について新たな発見をすることができたので、その内容を論文として科学雑誌に投稿しました。またハンザキ研究所の公開見学会も複数回にわたって行い、研究所が始まって以来の最高の来場客数となりました。来場者から「ここでしか得られない知識と体験!」と喜んでもらえたことがとてもうれしく、活動の動力源になっています。



R3 年度採用
(第 6 期)

Ikuko Yoneda 米田 育子

どんな人？

揖保郡太子町出身。2021 年 4 月より糸井地域自治協議会配属。三児の母として子育てに携わる中で、「自然の中での子育て」に憧れを抱いていた経緯をもつ。そんな憧れを現実のものとしたきっかけは、とある田舎暮らしの雑誌で紹介された、糸井地域の「朝日」で暮らしを営む家族を知ったこと。小さい集落で家族 5 人が体験する暮らしそのものが協力隊活動であり、そこで得られるあらゆる成果が発信に値する価値となっている。

今年度は
どんな年
でしたか？

今年度が協力隊として最終年度であり、山の中の田畑で自然栽培のお米や野菜をつくり続けて 3 年目となりました。特に、今年度は、かねてから計画していた加工施設を自宅内に完成することができました。そこで加工した干し野菜や健康茶を市内の農産物直売所で販売し始めています。「農天氣」という屋号です。もし見かけたらぜひ手に取ってみて欲しいです。



地域おこし協力隊 OB・OG の紹介

これまでに、16 人の隊員が任期を終え
うち 15 人が朝来市に在任在勤しています。



Miki Okano
岡野 未希
2014 - 2017



Takayuki Kato
加藤 貴之
2014 - 2017



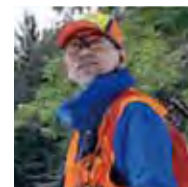
Naoko Kato
加藤 菜穂子
2014 - 2017



Ryota Shinohara
篠原 諒太
2014 - 2017



Shohei Matsuki
松木 祥平
2014 - 2017



Tsuyoshi Yoshihara
吉原 剛史
2014 - 2017



Akira Satake
佐竹 鑑
2015 - 2018



Naoki Takada
高田 尚希
2015 - 2018



Hideki Nakashima
中島 英樹
2015 - 2018



Daisuke Nishimura
西村 大輔
2015 - 2018



Takashi Nakae
中家 宜嗣
2017 - 2020



Tomohiro Horinouchi
堀之内 智裕
2017 - 2020



Shinjiro Kanamaru
金丸 真次郎
2018 - 2021



Masakazu Suwa
諏訪 正和
2018 - 2021



Ryo Taguchi
田口 亮
2018 - 2021



Chia Nishimura
西村 知亜
2018 - 2021

ASAGO LOCAL VITALIZATION COOPERATOR EXPERIENTIAL 朝来市地域おこし協力隊 3つの特徴

1. Follow up フォローアップ体制について

隊員それぞれのミッションが実現するように、フォローアップ研修会の開催や、協力隊が集まる定期ミーティングの実施による「悩みの共有」、「状況を打開するための意見交換」などをおこなっています。また生活の支援・活動の支援は、所属団体において相談できる者を明確にすることを心掛けています。海外から着任した隊員には市の国際交流員などによる支援もおこなっており、初めての土地でもいきいきと活動ができるよう隊員の状況に応じたきめ細やかなフォローアップ体制を整えています。



2. Tripartite training 想いを確認し合う「三者研修」の実施

地域おこし協力隊制度において、隊員は最大3年間の期間の中で、「地域から求められる地域課題の解決」と、主に「任期後の生業づくり」につながる活動が求められます。この2種類の活動が必ずしも、1つの道につながるとは限りません。その場合「隊員」・「地域」・「自治体」という三者の思いのズレにつながらないように、それぞれが求めることや、ミッションの進捗状況などを確認する「三者研修」を実施しています。また市行政幹部や地域の関係者の皆さんに対して活動状況を発表する場を設けることで、隊員は新たな協力者を得たり、活動の方向性の確認をしたりしながらミッションの達成を目指します。



3. Work balance 任期終了後の理想形と活動のバランス

「地域から求められる地域課題の解決」と「任期後の生業づくり」に関する取組の延長に、定住のための生活を支える仕事づくりが位置づけられるのが理想です。任期終了後を見据えながら、3者で活動のバランスを話し合います。その際に、標準的な活動の割合を概ね「5（地域支援活動）：3（定住に向けた活動）：2（協力隊のチーム活動）」となるように調整しています。



ACCESS TO ASAGO CITY 朝来市へのアクセス



電車をご利用の場合【山陰線・播但線】和田山駅下車

- ・大阪より特急で約2時間10分（福知山線経由）
- ・神戸より特急で約2時間（播但線経由）
- ・姫路より特急で約1時間（播但線経由）
- ・京都より特急で約1時間50分（山陰線経由）
- ・鳥取より特急で約2時間（山陰線経由）

自動車ご利用の場合

- 中国自動車道（福崎IC）→ 播但連絡道路（和田山IC）下車
 ・大阪より約2時間 ・神戸より約1時間50分
- 中国自動車道（吉川JCT）→ 舞鶴若狭自動車道（春日JCT）→ 北近畿豊岡自動車道（和田山IC）下車
 ・大阪より約2時間 ・神戸より約1時間50分
- 国道9号線利用
 ・京都より約2時間30分 ・鳥取より約2時間



MAP



生野鉦山のまちとして鉦山文化や景観が色濃く残る地域



人口が最も多く「天空の城竹田城跡」がある地域



田園風景が広がり、旧街道沿いに酒蔵が並ぶ注目の地域



美術館や鉦山遺構、茶畑など多様な側面を持つ地域



あなたはまちの未来
ASAGOiNG

朝来市役所まちづくり協働部市民協働課

〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷 213-1

TEL 079-672-3065

www.city.asago.hyogo.jp

Produce : Asago City

Direction & Design : Sho Sakiyama

Coordinate : Hideki Nakashima

Photo : Akito Sakiyama

It'll be your turn next time to take the lead!

創造しよう。
新しい朝来市、
新しいあなた。

協力隊特設ページはこちら

